


応募書類_1.概要 (1ページ以内)

応募活動名	カエルでつなぐ、たんぼと都会の人とくらし「カエルたんぼ365日」		
候補者	候補者名	(フリガナ) カエルアール	
		カエルR	
	活動地域	●●●県	活動開始年(西暦) 201●年
他薦の場合	推薦者名	(なし)	

応募活動の概要・実績	応募活動を象徴する写真(1点)
<p>・地域の方にたんぼを使わせていただき、カエルを始め多くの生き物がくらせる農環境を実現することを目指して、農作業・調査・環境教育を実施してきた。2022年からは、その成果を生かして、炭や藁、また近くの空き家をワーケーション拠点として貸し出しを始めた。</p>	
活動のきっかけ	
<p>・自然観察会を実施していた地域に、耕作されなくなった水田が増え、カエル類の減少が気になったことから、観察から一歩踏み出す活動を考えました。</p>	
活動の特徴・アピールポイント	
<p>・カエルやヤマユリを始めとする生物の生息数の回復・復活ができた。 ・炭や藁、お茶の頒布を通じて地域のお土産となり好評価をいただいている。 ・交通の便が必ずしもよくなく宿泊施設がないことをカバーし、ワーケーション拠点を作った。</p>	

応募部門 * 該当部門に印を入れてください。(複数可)	<ul style="list-style-type: none"> ■【保護実践部門】市民・学生・企業・行政・専門家などがそれぞれの立場と特性を活かし、具体的な自然保護の実績をあげた活動や研究。 ■【教育普及部門】自然観察をはじめ、広く自然保護・生物多様性保全を目的とした教育・普及活動。 <input type="checkbox"/>【子ども・学生部門】小学生から高校生まで、子どもが主体的に取り組んだ活動・研究。
--------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

応募書類_2.基本情報

記入例

候補者	候補者名 個人・団体名など	(フリガナ) カエルアール		
		カエルR		
	団体の場合 代表者名	たんぼ耕太郎	団体の場合 担当者名	山 百合子
	住所 (ご連絡先)	〒●●●●-●●●● ●●県●●郡●●町●●1-2-3		
	電話番号	090-1234-5678	メールアドレス	kaeru@tambo.org
	ウェブサイト			
	SNS (Facebook、 Twitter、 Instagramなど)			
	団体設立年	19●●年		

他薦の場合 *必ず候補者の 了承を得て ご推薦くださ い。	推薦者氏名			
	住所	〒		
	電話番号		メールアドレス	

応募書類_3.活動の詳細（2枚以内）

活動の詳細を、2枚以内で自由にご紹介ください。下記の選考ポイントをふまえて、特徴や実績をできるだけ具体的にお書きください。イベントや活動の規模、参加者数、活動の頻度、活動の継続性等を具体的にお願いします。活動年は西暦でお願いいたします。活動のようすがわかる写真等も入れてください。

<選考ポイント> 地域の自然の特性に根ざした活動／継続することの価値や意義がわかる活動／新しい技術やアイデア、枠組みを活かした活動／多様な



カエルRは、もともと自然観察が好きな同年代の数人で始めた小さなグループでした。しかし、ただ遊びに生かしてもらっているだけでは守れないと気づき、活動を開始しました。いま考えると、これはネイチャーポジティブにつながる活動だったと考えます。

19●●年 自然観察会を開始。

200●年 実施していた地域に、耕作されなくなった水田が増え、カエル類の減少が気になり始める。モニタリングの開始。

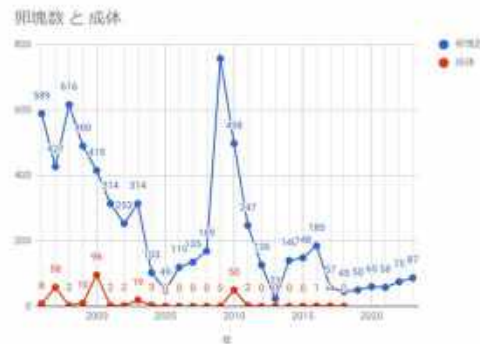
201●年 地域の方の協力・指導をいただき、耕作を開始。自然観察会の実施。

201●年 報告会とワークショップ（2022年まで隔年開催、参加者のべ450名）

201●年 アライグマの足跡を確認。センサーカメラでも姿をとらえた。町の外来種対策事業を活用し、罠を設置して捕獲開始。



応募書類_3.活動の詳細（2枚以内）



活動の成果

- ・活動のきっかけになったカエルは、現在モニタリングを続けており、上記グラフのように改善がみられたと感じています。
- ・多くの生き物がみられるようになりました。周辺の草刈りをしたことで、久しく見られていなかったヤマユリが突然咲き始めるなど、里山における人の関わりの意味を、たんぼから教えられています。
- ・ワーケーション拠点を始めて、多様な世代の方が参加してくれるようになりました。



状況に応じた試行錯誤とさまざまなチャレンジ

- ・自然観察会の開催。
- ・耕作の開始。うるち□□a、餅□a。
- ・獣害対策の試行
- ・地域の方に、かつてのくらしのヒアリングと復活。
- ・〇〇若手チャレンジ賞を受賞
- ・空家を利用して、ワーケーション拠点として貸し出しを開始。現在までの利用者は●●人。

